

# ひなたぼっこ通信

2013年  
7月号

## くいしんぼう揃い

宅幼老所では今年も畑作りが始まりました。畝を立て、マルチを敷いて…さて何を植えますでしょうか？やはりナス、キュウリ、トマトは定番、それにズッキーニ、オクラ、豆、ほうれん草に二十日大根と、ひなたぼっこ農園にも食材がしっかりと植えられました。「さつま芋もいいなあ」という要望にお応えして甘藷を十本も植えました。いつもは片時も離さず杖を突いていらっしやるHさんは「さつま芋つちゅうのは、こうやって植えるもんだあ」と、その大事な杖をほっぽ投げてまでして教えながら一緒に植えてくださいました。さすが昔とったきねづか、大したものですよ。これからの収穫が楽しみです。



## がんばれ、子育て

宅幼老所の軒下に造られたツバメの巣からかわいひナが顔を出しました。黄色いくちば

しが一、二、三、四、と四羽は確認できました。晴れの日も雨の日も親ツバメは、せつせとエサ運びに余念がありません。子供を育てる親の姿、がんばれ!!と応援中です。このヒナ達が巣立ち、きつと又来年も訪れることでしょう。



## ゴッホもびっくり

宅幼老所では、卵の殻を利用したモザイク画の製作をしました。色塗りをしてくださったTさんは、手が青色に染まるほど一所懸命でした。「わしゃ黄色いとこを貼るで、Uさんは緑色のとこをやっとくれや」と意欲的なSさん、丁寧細かい殻を



貼り付けるYさん、皆さんやり出すと夢中になるんですよ。ラッカー仕上げをして完成した大作!!遠くから見るとゴッホもびっくりするほどの出来上がりっぷり。自我自賛の世界です。

## だれでも参加できます「介護教室」

☆第22回 8月8日(木) 14:00

『介護現場の常識・非常識』

講師…介護職 遠藤 美奈

☆第23回 9月12日(木) 14:00

『介護保険制度について』

講師…ケアマネジャー 眞田 美栄

☆皆さんの参加お待ちしております

場所…ひなたぼっこ本部事務所 無料です。

時間…14:00～1時間です。

6月の介護教室「認知症の理解 家族の気持ち」に参加された方々の関心事は、『予防』に集中しました。認知症は脳疾患で生じた様々な障害からなる症候群です。健康には、規則正しい生活、バランスのとれた食事と適度な運動が重要ですが、何よりも大切なのは、やりたいたいと思えることを見つけて、自分の生きがいを持つことではないでしょうか。

## 第二回 互助会の親睦行事

6月15日、あいにくの曇り空の中、電車に乗って安曇野のちひろ美術館とわさび農場へ出かけました。美術館では、作品の一つ一つに心を和ませ癒されました。でも一番の収穫は、普段はあまり接する機会のない職員同士の会話で、名目通り親睦を深める旅ができました。



## すっぱい

グループホーム入居者様のお部屋の窓際に、いちごの鉢を置いて育ててもらいました。おいしそうに真っ赤に色づき、甘い匂いがしてきた頃、お口へぽこっと入れて、「すっぱい」と笑いながら感想を言ってくれました。色はとっても良いけれど、酸っぱかったようです。日当たり良好の窓際で、いちご栽培を楽しそうにしてくださいました。



## あっ、たまごが・・

5月末、グループホーム自動ドアの上部空間にすずめが巣を作り始めました。ドアの開け閉めの度、巣が少しずつ崩れ落ち、卵やヒナが犠牲にならない内にと、「作りかけの巣を取り除く人間」対「せっせと巣を作り続けるすずめ」との戦いは1週間程続き、その間に2つの卵が落ちてしまい、事の成り行きを見守っていた入居者様も残念がられました。ブルーシートや糸で防ぐも何のその、一途なすずめはせっせと糞を運びます。ようやく5cm巾程のリボンですずめの進入口を塞いで決着がつき、すずめは別の場所に巣を作り始め、ほっと一安心。今度こそ、無事にヒナがかえって育ち



ますように…。

すずめから『何事もあきらめずやり続けること、そしてダメなら頭を切りかえること』を学びました。

## 六月の俳句

グループホーム入居者様の俳句をご紹介します。

つゆ草でハンカチ染めし友何処

おつまみをやさしき天(つま)へ冷やしビール  
そろばんを習ひし夜や金亀虫(こがねむし)

子育ての頃思ひ出すばらの花

梅雨空を眺めし夢の続き思ふ

嫁ぐ日を夢見る午後やバラ真紅

梅雨寒や座ぶとんの柄合わせ見ゆ

大声で歌ってみたき夏は来ぬ

『第三回ひなたぼっこ夏まつり』を7月21日(日) 10:00～14:00に開催します。

昨年は、ご家族、地域の皆様のご協力で盛大に開催できたことを感謝いたします。今年もお楽しみステージ、大抽選会と盛りたくさんのプログラムとなっております。今回の大抽選会では、特賞5等まで107点の豪華景品を用意しています。尚、抽選券(1枚100円)は当日受付で販売致します。是非、皆様のお越しを入居者・職員一同、心よりお待ちしております。

## お譲り下さい

※使用済みのご祝儀袋(水引と和紙)を集めています。ございましたら、宅幼老所までお願いします。

## 職員からひとこと

「生きていくということ、死にゆくということとは生活を全うすることである。」NPO法人某ホームホスピスのHさんがおっしゃっていました。まさに同感です。そんな生活の一端をお手伝いさせていただくという気持ちで接することに、日々心がけています。

(宅幼老所 S・F)

## 編集後記

念願の八ヶ岳に登り、山荘に初めて泊まりました。毎日毎日、見上げていた山の上から眺めた富士見町、一瞬の雲の切れ間から同じ視線で見えた富士山…、何もかもが感慨深く、自身を見つめ直しこれからどう生きるべきかを確認することができました。(T・K)

発行責任者：社会福祉法人ひなたぼっこ

森 正明

T399-0211

富士見町富士見11650-1

☎0266-61-2335

FAX0266-61-2336